

函館市七尾町の渡辺嘉代子さん（下祖母石出身）
故郷を思い、「下祖母石音頭」を作詞

北海道函館市七尾町の渡辺嘉代子さんが、生まれ故郷の下祖母石地区で当時家が隣同士だった伊藤孟男さんの依頼で、盆踊り用の曲「下祖母石音頭」を作詞しました。

渡辺さんは26歳まで下祖母石地区に住んでおり、結婚を機に七尾町に移り住んだとのことで、亡くなった長女を偲んで書いた追悼歌が評判となるなど詩心に優れ、それが縁で声を掛けられたといひます。また、4番まである歌詞には、下祖母石地区に広がる「七里岩台地」やそばを流れる「釜無川」遠くに望む「富士山」などの情景が盛り込んであり、またサビの部分は「ころん、ころんと立ち上がる、立ち上がる」で締めくくり、どんな困難にも負けない下祖母石の心意気を表現しているそうです。

「下祖母石音頭」は今年の下祖母石地区の盆踊り大会で使われる予定で、渡辺さんは「昔の故郷を思い出しながら書きました。下祖母石地区での盆踊りが楽しみ」と話しているとのことです。



「下祖母石音頭」を作詞した渡辺嘉代子さん（写真中央）

“家族仲良く”が長生きの秘訣

1月6日、満100歳になられた長寿のお祝いに、内藤市長が山田まさ子さん（本町1丁目）のお宅を訪問しました。

山田さんは、暇さえあれば新聞を読んだり、テレビを見たり、時にはペットの犬に餌をあげたりしているそうで、いつも家族に囲まれて暮らしているそうです。

これからも元気に長生きしてください。



元気に「よいしょー！」

1月10日、市民交流センターニコリで新年恒例の餅つき大会が開催されました。

会場では、たくさんのちびっこ達が集まり順番にお餅をついていて、自分の身長位ありそうな杵を力いっぱい持ち上げてお餅をついている様子に、周囲からは「よいしょー！」の声援が響き渡っていました。

つきたてのお餅はその場であんこ餅にして食べることができ、会場を訪れた川端美羽ちゃん、紗羽ちゃん姉妹は「つきたてのお餅は美味しいね」と感想を語ってくれました。

国民健康保険より

1月に国民健康保険で支払った額（保険者負担額）は、137,762,773円（前年同月比11.22%減）で、1人あたりの保険者負担額は、17,394円（前年同月比8.55%減）でした。引き続き健康に気をつけ医療費の節約にご協力ください。

市の人口	1月1日現在	(前月比)
男	15,250人	-37人
女	15,502人	-19人
計	30,752人	-56人
世帯数	12,403世帯	-10世帯

「広報にらさき」に掲載する有料広告を募集

■掲載位置

2色刷りページとし、色、ページ及び位置は市が指定

■デザイン及び内容

広報にらさきのデザインと調和のとれたもの

■規格（基準） 1 枠縦 50 ミリ × 横 85 ミリ

■掲載料（1 枠あたり） 10,000 円 / 月額

■掲載期間 原則 3 ヶ月

■問い合わせ 企画財政課企画推進担当（内線 356）